

☆「近未来戦の姿

—すでに AI 兵器は存在する？—」

講座の概要☆

○2025 年 10 月 2 日(木)実施

○場所：なるお文化ホール

○出席人数：247 名

○講師：京都産業大学世界問題研究所長 岩本誠吾（いわもとせいご）先生



講座の概要

はじめに、「火薬」「核兵器」に次ぐ第三の軍事革命としての無人 AI 兵器の概要について説明されました。遠隔化・無人化という機能を持つこの兵器は、低コ

ストで作れて小さくて迎撃しにくく、パイロットの養成も不要といったメリットがありますので、今や戦場では空中に海中に海上にと大活躍の様相を呈していることなどが解説されました。

次に、人工知能（AI）の軍事活用という側面からお話をなさり、AI の近年の目覚ましい進化や軍事での利用領域、また AI 兵器が収集してきた情報の信憑性について軍の将校は全面的に信用し、AI システムの決定に人間はハンコを押すだけの存在になっていることなどを話されました。

最後に、AI 兵器の国際法規制について話され、最もゆるい「規制不要派」と最もきつい「軍縮法条約派」の両極端の間にさまざまな立場の国があり、日本は「非法的文書（行動規制や優良実践事例集を文書化する）」で AI 兵器を規制すべきだという立場であることなどを解説されました。

講座の評価

お客様からのご評価は、「本日の講座はお客様が期待するようなものでしたか」という問いに対して「1.あてはまる」が 149 名（65.6%）、「2.どちらかといえばあてはまる」が 69 名（30%）、「3.どちらかといえばあてはまらない」が 9 名（4%）、「4.あてはまらない」が 1 名（0.4%）、評価無記入が 20 名でした。

「AI がどのように戦争に使われているのかがよく分かった」「AI 兵器の規制の意義を痛感した」といったご感想が多く寄せられました。

お客様の声

「ウクライナ、ガザで現実には戦争が行われている中で、今日のお話はとても興味深く、重要なお話だと思います。AI にしても国際的な日本の対応にしても、私達一人一人が自分自身でしっかり勉強して、自分の考えというものを身に付けてゆくことが重要だと思います。」

「面白かった。AI のことは私にはむづかしいと思っていました。でも、分かりやすく、勉強になりました。先生のお話はむづかしい事を分かりやすく話して下さい、目からウロコが落ちることが多くありました。もう一度、講義を受けたいです。ありがとうございました。」

「遠隔化・無人化など、様々な用途に対応するために進化を続けているドローンに驚きました。（自律化するドローンには、少し恐怖を感じます。）まさしく、判断を機械に依存する危険性を回避すべく、人間と AI の共存・共生する社会の実現を心から願います。近未来は本当に目前に迫って来ていることを実感する講座でした。ありがとうございました！」